第 15 回 地域バス交通活性化セミナー

クルマ社会の中で、バス交通を どのように活性化させるか

日時：平成 29 年 11 月 17 日（金）13:30～16:45（13:00 受付開始）
会場：ハピリン３階「ハピリンホール」
主催：国土交通省中部運輸局、(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団、福井県
協力：(公社) 福井県バス協会、福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議

バス交通の活用と地域の活性化を考える場として、福井市において、第 15 回地域バス交通活性化セミナーを開催します。

地域バス交通に関心のある方（住民、自治体担当者、交通事業者など）ならどなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしています！（入場：無料）

【プログラム】

13:30　開会挨拶（国土交通省中部運輸局、(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団）

13:40　基調講演
「地域のみんなでバス交通を生まれ変わらせる方法」
加藤　博和　名古屋大学大学院環境学研究科　教授

15:00　休憩

15:10　パネルディスカッション
「クルマ社会の中で、バス交通をどのように活性化させるか」
パネリスト：加藤　博和　名古屋大学大学院環境学研究科　教授
猪嶋　宏記　福井県総合政策部　交通まちづくり課長
天谷　幸弘　京福バス株式会社　代表取締役社長
（公益社団法人福井県バス協会　会長）
村田　治夫　福井鉄道株式会社　代表取締役社長
コーディネーター：川上　洋司　福井大学大学院工学研究科　教授

16:45　終了（予定）

【開催趣旨】

中部地方における地域バス交通の活性化のため、福井県福井市を検討の場として、第 15 回地域バス交通活性化セミナーを開催します。

福井県においては、平成 28 年３月、えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れが開始され、また、福井鉄道の福井駅前への延伸とともに、バスロータリーを整備したＪＲ福井駅西口広場も同時に供用が始まり、交通結節機能が大幅に強化さました。

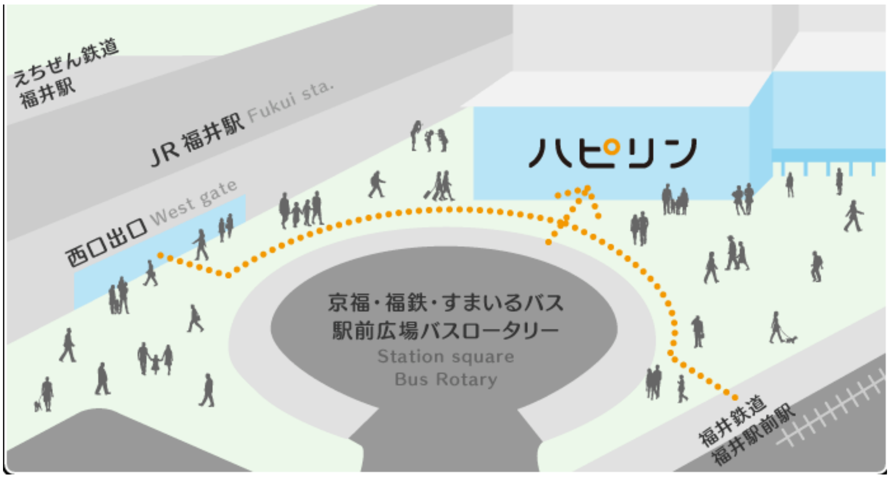
しかしながら、過度に自動車に依存している状況に変わりはなく、自動車は人口約７７万人に対し、約６６万台を保有しており、自家用乗用車の世帯当たりの台数は 1.749 台と 16年連続して全国１位となっています。

このように移動の大半を自家用車に頼るような車依存社会では、ますます公共交通機関の衰退が生じることになりますが、昨今の高齢者の運転による自動車事故の増加が深刻な社会問題となっていることもあり、今後は自家用車に頼らない移動手段の確保とネットワークの構築が必要となります。

こうした状況を踏まえて、車依存の傾向が全国的にも顕著である福井県において、これまでの車依存の弊害によって衰退をしてきたバス交通について、鉄道との連携も含め「今後どのように活性化をしていけばよいか」をテーマとして取り上げ、地域にとっての地域公共交通の確保・維持の方策等を考えていく機会とするため、セミナーを開催します。

本セミナーでは、バス交通の活性化に詳しい有識者からの基調講演のほか、後半部では、交通事業者を加えてパネルディスカッション等を行い、今後の地域バス交通の活性化方策について議論を行います。

会場アクセス（ハピリン）



ＪＲ「福井駅」西口から徒歩１分
えちぜん鉄道「福井駅」から徒歩１分
福井鉄道「福井駅前駅」から徒歩１分

「ハピリン内」３階「ハピリンホール」

参　加　申　込　書（第 15 回）

【宛　先】Fax：03-3221-6674　E-Mail：bus［at］ecomo.or.jp（※［at］を@に変換下さい）

事務局：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部（担当：岡本・中道）

ご所属	お名前	ご連絡先（電話番号）	ご連絡先（E-Mail）

※ご記入いただきました個人情報は、当財団の「個人情報保護方針」(http://www.ecomo.or.jp/support/privacy.html)に基づき、適切な管理を行い、本研修会開催にあたってのご連絡を行う場合にのみ使用させていただきます。

問合せ先：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団交通環境対策部（担当：岡本・中道）TEL：03-3221-7636　E-Mail：bus[at]ecomo.or.jp